



昨年9月の台風15号による土砂災害で運行を休止していた六甲ケーブル（神戸市灘区）が25日、4カ月ぶりに全面復旧した。赤や緑を基調にしたレトロな車体が元気に走る姿を見せるとき、地元ファンやハイカーらが久々の“再会”を喜んだ。（長谷部崇）

台風被害から4カ月

六甲ケーブル 力強く復活

六甲ケーブル下駅　開業で、これまでも水六甲山上駅間の約1・7キロ、高低差493㍍を結ぶ同ケーブル。1932（昭和7）年の16日未明に発生。車両

害や震災被害を乗り越えてきた。

手作業で土砂撤去 喜ぶハイカー、通学児童

のすれ違う中間地点が埋まつた。以降、重機が運び込めないため、手作業で土砂を撤去するなどして復旧工事を進めてきた。この日は始発列車運行前に試運転を実施。六甲山上駅の運転室で車両のワイヤロープを引く巨大な巻き上げ機が動き出すると、六甲山観光の田爪悦弘技術課長（50）は「やっとこの日が来た」とホッとした。

六甲山上駅では運行再開を祝う式典も開かれ、乗客にはぜんざいや日本酒が振る舞われた。

（3号トンネル）北口付近で、斜面が幅15㍍、高さ25㍍にわたつて崩落。岩や倒木で軌道が埋まつた。以降、重機（6）が笑顔で見送った。月曜日から通学で1年の井上明日香さん（6）が笑顔で見送った。月曜日から通学で1年の井上明日香さんは、2月かなどドキドキしながら待つてたんだ。月曜日から通学で1年の井上明日香さんは、「（復旧が）1月末か

午前7時10分には始発列車が出発。六甲ケーブル下駅では、神戸市立六甲山小学校の利用を再開するといい、母親の理子さんは「（復旧が）1月末か



大量の岩や土砂が軌道上に崩れ落ちた現場
昨年9月17日、神戸市灘区（六甲山観光提供）